

## ■ 投稿規定 ■

<2021年6月1日より適用>

### 【投稿にさいして】

1. 人を対象とする医学系研究は、世界医師会による最新のヘルシンキ宣言に示された倫理規範を遵守してください。また、文部科学省および厚生労働省が提示する“人を対象とする医学系研究に関する倫理指針”“ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針”“遺伝子治療臨床研究に関する指針”などの各種“指針”を遵守してください。
2. 「投稿にあたっての著者署名・チェック用紙」に“本論文の内容は、他誌に未発表であり、現在投稿中ではない”旨を**著者全員の署名および日付**とともに明記し、添付してください（別紙参照）。
3. 「利益相反に関する著者チェックリスト」を添付してください（別紙参照）。また、利益相反の有無を本文の最後に明記してください。例：利益相反なし。利益相反あり：本研究は\*\*\*会社より機材の提供を受けた。
4. 臨床研究（薬物の適用外使用なども含みます）については、適切な形で患者・被験者の承認、ならびに所属施設の承認（承認番号記載）を受け、その旨を本文中に記載してください。
5. 動物実験については、所属施設の承認（承認番号記載）を得るとともに、動物実験実施規定に準拠して行われたものであることを本文中に記載してください。
6. 症例報告については、患者（または両親や保護者など）のプライバシーの侵害とならないよう、インフォームドコンセントを必ず取得し、本文中にもその旨を記載してください。

### 【執筆にさいして】

1. 論文タイトルは簡潔・的確につけてください。
2. 総説，原著，講座は300字以内／症例対照研究，症例集積研究，紹介は200字以内／速報，症例報告は150字以内の“要旨”をつけてください。要旨は論文の最初に出し、内容を簡潔にまとめ、結果と結論を明瞭に記述してください。
3. 考察の最後には、行を改めて100字以内の結論をつけてください。
4. 要旨および本文中で略語を用いる際は、必ず初出時に正式名を併記してください。
5. 本文の文頭に**3-5語の和文キーワード**を付記してください。
6. 総説：**8頁以内**／原著，講座，症例対照研究，症例集積研究，紹介：**6頁以内**／速報，症例報告：**3頁以内**／LETTER TO THE EDITOR：**1000字以内**にまとめてください。頁数計算の目安として、本文400字×4.5枚（タイトル頁は3.5枚）で1頁，引用文献数20で1頁，ABSTRACT 200語（本文）で0.5頁となります。図・表については、本誌参照のうえ適宜ご考慮ください。本文の文字数は、A4判1枚に400字としてください。  
速報につきましては“Preliminary Report”として英文での投稿も受け付けます。  
“Preliminary Report”の投稿について：研究途中でまだ一部の成果しか出ていないもの、原著にまとめるまでには時間がかかりそうなものなど、興味ある知見をいち早く英文で発表したい場合にご利用ください。掲載後は、原著での投稿が可能となります（他誌への投稿の際には必ず引用すること）。速報性があるか否かは編集委員会で判断いたします。掲載頁数は、原則と

して本誌頁数で**3頁**以内とします。以下の要項で、ご執筆ください。用紙：A4判，文字：10.5ポイント（行間ダブルスペース），本文語数：1000語以内（本文末尾に“ABSTRACT”100語程度を記載），図・表：1-2枚，引用文献：必要最小限。

7. 用語は日本麻酔科学会編“麻酔科学用語集第5版”および日本医学会医学用語管理委員会編“日本医学会医学用語辞典WEB版”に準拠してください。文中の外国語は人名などを除き、できるだけ前記2書の訳語を使用してください。

8. 薬品名は原則として一般名を用い、表記方法は日本語を用いてください（日本医薬品集フォーラム監修“日本医薬品集 医療薬”参照）。

9. 単位は、 $\text{mg} \cdot \text{kg}^{-1} \cdot \text{min}^{-1}$ などの表記法を用いてください。

10. 日本麻酔科学会などの学術集会において発表した内容は、必ずその旨（学会名、西暦年、開催都市名）を本文末尾に付記してください。

11. 引用文献数は原則として主要文献**20以内**とし、これを本文末尾に引用順にまとめてください。著者名の記述は**6名**までとし、それ以上は“ほか”あるいは“et al”としてください（下記参照）。

#### ★雑誌の場合

著者名（6名まで）、題名、誌名（正式略称）発行年（西暦）；巻数：開始頁-終了頁（略記）。

〔例〕大井彩子, 林 浩伸, 高谷恒範, 本山 靖, 中瀬裕之, 川口昌彦. 頭蓋底腫瘍摘出術における経頭蓋電気刺激による顔面神経運動誘発電位モニタリングの信頼性の検討. 麻酔 2019; 68: 354-62.

〔例〕Ichino T, Tanaka S, Tanaka R, Tanaka N, Ishida T, Sugiyama Y, et al. Transcranial motor-evoked potentials of laryngeal muscles for intraoperative neuromonitoring of the vagus nerve during thyroid surgery. J Anesth 2019; 33: 221-9.

#### ★書籍の場合

著者名、章名、監集・編集者名、書名、(巻数、版数.) 発行都市名：出版社名；発行年（西暦）、開始頁-終了頁（略記）。

〔例〕石田和慶, 山下敦生, 若松弘也. 大血管手術での脊髄電気生理学的モニタリング. 松本美志也編. 麻酔科医・集中治療医のための脳波解析と電気生理学的モニタリング. 東京：克誠堂出版；2016. p.167-82.

〔例〕Fukuda K. Opioid analgesics. In: Miller RD, editor. Miller's anesthesia. Vol 1. 8th ed. Philadelphia: Elsevier; 2015. p.864-914.

12. ABSTRACT（論文タイトル、全著者名、所属、本文、key words）：①本文語数は、総説、原著、講座は200語以内／症例対照研究、症例集積研究、紹介は150語以内／速報、症例報告は100語以内で記述してください。②原著およびそれに準じる論文の場合は、構造化抄録の形式：**Background, Methods, Results, Conclusions**の項目順に執筆してください。③文末に**3-5語のkey words**を記載してください。④本文の行間は2倍以上開けてください。

13. 図・表中の用語および説明文はできるかぎり日本語にしてください。

他書誌より転載した図表については、**著者が責任をもって必要な許諾をお取りください**。各図表の説明文の下には出典を明記してください。

#### 【諸権利について】

近年、複写機やインターネットの普及によって、著作物の無断複写が頻繁に行われています。無断複写等を防ぐために、執筆の先生方と小社との間で以下のお約束をお願いいたしたく存じます。

1. 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、克誠堂出版（株）に譲渡されたものとします。

2. 著作物の二次利用（複製、転載など）の許諾

は、一切の改変がない、もしくは内容の同一性を損なわないほどに軽微な改変である場合に限る、著者の確認なしに小社が行えるものとしません。

3. したがって、前々項および前項の諸権利の許諾は小社ないしは小社から委託した管理団体が行いますが、著者自身の使用を拘束するものではありません。再利用される場合は、事前に小社あて、ご一報ください。

#### 【その他】

1. 規定の頁数を超過する場合は、**実費を負担**(本誌1頁あたり22,000円)していただきます。

至急掲載希望の論文はその旨お申し出ください。査読後、**特別掲載**といたします。この場合は、全頁の実費負担となります。

2. 編集作業上、用語および漢字・かな使いは当編集室で訂正することがあります。

3. 原稿の掲載号数・分類は編集委員会にお任せ願います。別刷は有料で作製いたします(弊社サイトの料金表を参照、発送は本誌発行約1カ月後)。必要別刷部数は原稿の表紙に朱記してください。

#### 【投稿先について】

2021年6月1日より、投稿はオンラインのみの受付となります。投稿にはオンラインシステム Editorial Manager<sup>®</sup>を用います。ご利用には別途アカウント登録が必要です。

詳細は弊社ホームページ (<http://www.kokuseido.co.jp/masui/>) をご確認ください。